



Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日

会長: 大島 浩嗣

幹事: 稲葉 徹

会報委員長: 高木 勝

例会日: 毎週木曜日 PM12:30~

例会場: ヒルトン名古屋

事務局: 460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ヒルトン名古屋910号

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

Mail: 2760nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

CELEBRATE ROTARY

2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーを祝おう 2004~2005年度 R.I.会長グレンE・エステス・シニア

第1196回例会

~新世代のための月間~

2004年9月9日(木) 晴 第10回

- 司 会: (倉澤 寛会場委員)
- 体 操: ストレッチング(船渡昭人会場委員)
- 斉 唱: 「我等の生業」
- ピジター: 一宮RC 日野正美君 他1名
(宮崎信次親睦活動委員紹介)

会長挨拶

大島浩嗣会長

古代中国の哲学思想では、奇数のことを陽数といい、陽数の重なる日は災いを招く危険な日として祭りや長寿を願うお祓いが催されました。陰暦の9月9日は「陽数奇数」で最も大きい9が重なる日で「重陽の日」「菊の節句」といわれ、1月7日、3月3日、5月5日、7月7日と共に五節句の一つであります。



古代中国では菊の花、桃の花、菖蒲もみな薬品で、邪気を払い長寿に効くと信じられていました。中国の野生菊の産地であります河南省の山中の谷川に甘谷水というおいしい水が流れており、谷の上流の両岸には菊が生い茂り、花が何世紀もの間谷川に散り落ちていた為、水が大変おいしくなった訳であります。この谷川の水を飲料としている人々は、少なくとも80~90歳まで、殆どの人は140~150才の長寿を保つことが出来たそうです。またこの水を取り寄せて愛飲した漢の將軍達は、全ての病気を癒すことが出来たと、隋・唐時代の医学書に書かれているそうです。菊は日本の代表的な花ですが、もともと我が国にあった訳ではなく、5世紀の初め、仁徳天皇の時代に百済から渡来したそうです。菊の花びらを浮かべて菊酒を飲むと長寿に効くという中国の漢時代からの風習が天武天皇(672年~686年死去)の時代に日本に伝わり、「菊花の宴」として宮中の年中行事に取り入れられました。平安時代には「菊のきせ綿」といって、9月8日の夕方に菊の花に綿をかぶせ、次の日の朝、露でしめったその綿で体をなでると、老いを払い、若返るという風習がありました。露が草木の間に白くたまり、秋が本格的になるという二十四節気の白露が、丁度9月8日なのも意味深いものがあります。

江戸時代の幕府では、この日に諸大名を登城させて祝うのが年中行事となっていました。民間でも秋祭りをして菊酒を飲み、栗ごはんを食べて大々的に祝っていました。しかし明治以降この風習はすたれ、現在では菊の品評会が催される程度となってしまったのは淋しい限りであります。

幹事報告

稲葉 徹幹事

- ・次週、臨時理事会を12時より例会場内にて開催します。関係各位はご出席をお願いします。
- ・本年度RACへの補助金として、486,079円、次年度地区年次大会ホスト積立金62,500円、計548,579円を振り込みました。(会員1人当たり7,314円)

9月誕生日おめでとう

小林 幸男君 高須 洋志君 八木沢幹夫君 岩根 敬泰君
近藤 雄亮君 岡村 達人君 小串 和夫君

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西RC	9/23(木)※			10/14(木)
名古屋南RC	9/22(水)	9/29(水)		
名古屋北RC				10/15(金)
名古屋守山RC	9/22(水)			
名古屋東南RC	9/22(水)	9/29(水)		10/13(水)
名古屋中RC			10/4(月)	
名古屋名東RC		9/28(火)		
名古屋名北RC	9/22(水)		10/6(水)	
名古屋千種RC	9/21(火)			
名古屋大須RC			10/7(木)	10/14(木)
名古屋栄RC	9/20(月)※	10/4(月) 17:00~18:00		10/11(月)※
名古屋昭和RC	9/20(月)※		10/4(月)	10/11(月)※
名古屋西南RC	9/23(木)※	9/30(木)		10/14(木)
名古屋錦RC			10/5(火)	
名古屋東山RC	9/23(木)※			10/14(木)
名古屋空港RC	9/20(月)※		10/4(月)※	10/11(月)※
豊山一城北RC		9/28(火)		
西春日井RC				10/12(火)

(注)※は休会・その他理由につきピジター受付はありません。

出席報告

佐藤一郎出席委員長

会員76名 出席54名 (出席計算人数57名)

出席率73.68%

9月2日は補填により 89.66%

8月25日は補填により 98.25%

8月19日は補填により 100%

・台風の心配を頂きありがとうございました。会員に被害はなく、皆元気です。

台北延平RC会長 高 萬生(ゴードン)君

台北延平RC名古屋班長 李 武弘(クラウン)君

・誕生日を忘れていました。遅くなりました。

山田 鎮浩君

・9月26日は誕生日です。

小串 和夫君

・9月20日は私の誕生日です。

近藤 雄亮君

・5日で61才になりました。誕生日は西本・松波両君と三好C.Cにいました。60になってゴルフの腕前を上げようと考えている変なコンピです。

高須 洋志君

・9月4日は誕生日です。

小林 幸男君

・9月26日は女房の誕生日です。

中川啓二郎君

・9月20日は妻の誕生日です。

高木 勝君

・9月17日は妻・好子の誕生日です。

長瀬憲八郎君

・9月15日は家内の誕生日です。

稲垣 豊君

・1)クラブの欠席が続き申し訳ございませんでした。

2)都市対抗野球・春日井市の王子製紙が初優勝致しました。

田中 政雄君

・今日は卓話をさせていただきます。ヘタなつまらない話になるかも知れませんが、宜しくお願いします。

吉木 洋二君

・朝夕涼しくなりました。体に気を付けましょう。

大川 嘉成君

・足立さんごちそうさまでした。長坂さん杖をありがとう。

景山 和明君

・ドラゴンズ、最後の追い込み頑張っ！ **守谷 巖樹君**

卓話

吉木洋二君

サルの話

まずはじめに、米山委員会の委員長としてお知らせがあります。先日、委員長会議というものがあまして、寄付金が年々少なくなっているというのが議題にあがりました。今度から年間10万円で米山功労者として感謝状を、30万円でマルチプル功労者としてバッチを贈呈することとなりました。地区の中で瑞穂RCはどれぐらい貢献しているかといいますと、地区の80あるクラブの中で50番目に位置しております。50番目というのはどちらかといえば低い方かと思っておりますので、皆様御協力宜しくお願いします。

本日のテーマであります「サル」についてですが、特に本業という訳でもなく、身内にそういった関係のものがある訳でもありませんが、お話をさせていただきます。以前、山登りの話をしたことがあり、今日もその続きを話せばいいのではといわれました。過去山登りをしていた時は、重い荷物を背負い、



ただひたすらに前の人について歩き、下を向いて黙々と登っていくというものでした。楽しんで山を登るというのではなく、いったい何の為に登っているのだろうと考えることがしばしばありました。学年が上になり、リーダーになった時などはさらに責任が増し、精神的にもとてもきつかったのを覚えています。日常とはかけ離れた状況の中、自分の弱い面やずるい面、色々なやな面が見え始め、人間とはなにか？改めて深く考えるきっかけとなりました。人が人たる由縁とはなにか、人はサルから進化したというのが人間とサルの違いはなんなのかという所へ行き当たりました。その時に出会った本が「裸のサル」という本です。かなり古い本で、解釈が変わっているかと思しますので、もうひとつの本について話をしたいと思います。

京大にサルを研究しているグループがありました。野生のサルを餌付けし、サル1頭ずつに名前をつけるという観察方法で、サルの集団の生態を解明しました。サルの集団はボスザルを中心に、その周りにメスザル、その子供、そして若いオスザルが取り巻いています。そしてその若いオスザルが力を付けボスの座を取って代わるというものです。ボスザルはグループをとりまとめる役割を果たしており、ケンカがあれば仲裁し、敵が来た場合は仲間に危険を知らせ、率先して敵と戦いグループを守るというものです。発表された当時はセンセーションを巻き起こしましたが、餌付けをしたサルではなく、本当の野生のサルを観察しなければいけないのではないかという考えが起こってきました。そうして観察をしてみると、今までの理論とは全く違うということが分かってきました。例えば野生のサルの群れで、ボスらしい行動を取るサルがいるかという見あたらないのです。要するに野生のサルの群れにボスはいないということです。また他の特徴としては、群れの中で生まれた子猿がオスであった場合、大人になった時に群れを離れるということが分かってきました。メスは群れを離れず残る為、近親交配をさける為の自然の行動であろうと考えられています。餌を探す際も、野生のサルはどういった行動をするかという、他の群れと鉢合わせしないよう気を配り、同じ群れの仲間をお互い気にしながら、自分の行動を決めるということです。ニホンザルはオスが群れを離れ、メスが残るといった母系社会であることが分かってきました。そして、ニホンザルだけではなく、より人間に近いサルはどういった生態なのか研究されるようになります。チンパンジーは父系社会で、オスが生まれた群れに残るという習性があります。他の特徴としては、グルーミングをしあったり、抱擁をするなど、お互いにコミュニケーションを取るといった複雑な社会行動を取ります。人間とサルの行動を比べてみますと、根底のところでも似ていると思った次第であります。

今週卓話

9月16日(木)

卓話講師：瑞穂警察署 署長 大須賀鋼二氏

テーマ：「当面(万博を控えて)の治安情勢」

次週例会

9月23日(木)

法定休日により休会

次々週卓話

9月30日(木)

卓話講師：日展評議員・光風会理事 金沢美大講師 藤森兼明氏

テーマ：「画業人生」